



# 2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年 7月31日(水)

ウェーブロックホールディングス株式会社  
証券コード:7940  
(東証スタンダード市場)

## ■ 売上高 6,499百万円（前年同期比+6.0%）

- 上期予想進捗率54.2%と想定どおり進捗
- 成長分野である自動車向けフィルム販売および成形加工品販売が順調に拡大。テレビモニター向け導光板の仕入販売も増加
- 原材料価格上昇分の売価転嫁

## ■ 営業利益 214百万円（前年同期比△57.4%）

- 上期予想進捗率は107.2%となるも、想定どおりの進捗
- 期初原価改定差益の減少により前期比マイナス

## ■ 当期純利益 291百万円（前年同期比△5.0%）

- 上期予想進捗率85.6%
- RP東プラの持分法利益および為替差益を計上

# 第1四半期業績概要

- 売上高・営業利益ともに**想定どおりの進捗**。経常利益以下は為替差益の計上により想定以上の着地
- **成長分野の自動車向け販売は順調に拡大**
- 第2四半期以降、マテリアルソリューション事業は原材料価格上昇に加え販売数量減少に伴う生産効率低下を懸念。稼ぐ力の再構築に向け高付加価値製品の開発など対応を進める。アドバンステクノロジー事業は急増する受注への安定供給体制構築により、期末に向けて売上高・利益を積み上げる見込み
- **業績予想は第2四半期、通期ともに据え置く**

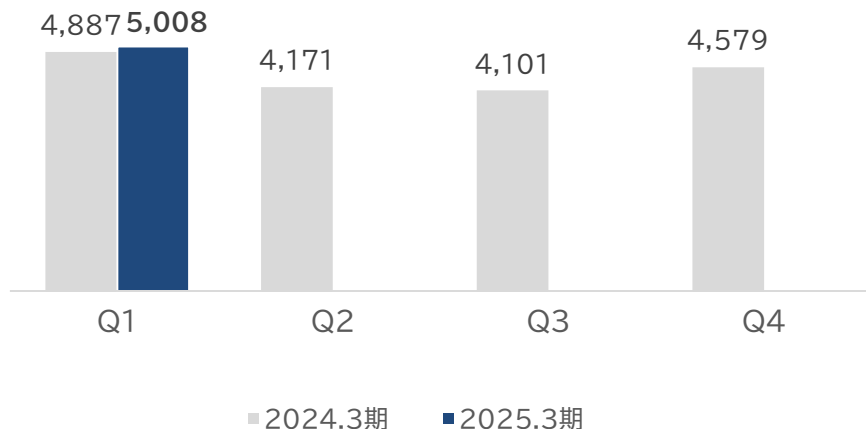
(単位:百万円)

	2024年 3月期 第1四半期 (実績)	2025年 3月期 第1四半期 (実績)	増減率	上期予想	上期予想 進捗率	通期予想	通期予想 進捗率
売上高	6,128	6,499	+6.0%	12,000	54.2%	25,500	25.5%
マテリアル	4,887	5,008	+2.5%	-	-	19,000	26.4%
アドバンス	1,243	1,496	+20.3%	-	-	6,500	23.0%
営業利益	503	214	△57.4%	200	107.2%	420	51.0%
マテリアル	710	391	△44.9%	-	-	950	41.2%
アドバンス	△44	△14	-	-	-	150	-
その他	△163	△162	-	-	-	△680	-
経常利益	521	427	△18.1%	450	95.0%	660	64.8%
当期純利益	306	291	△5.0%	340	85.6%	440	66.2%

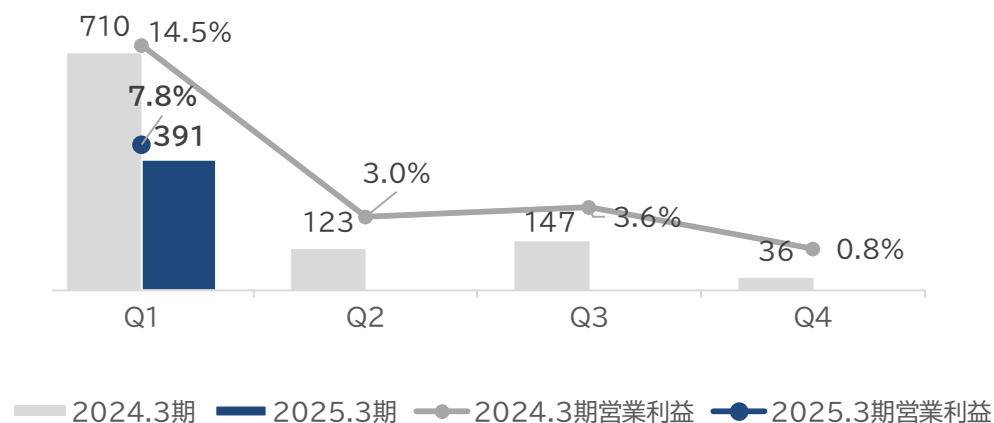
# セグメント別情報

単位:百万円

売上高



営業利益・営業利益率



## リビングソリューション:

- 需要期のホームセンター向け販売は、地域によりばらつきはあるものの客足回復傾向に加え、原材料価格上昇分の売価転嫁値上げにより堅調に推移。一方、サッシメーカー向けは着工数減少などにより受注減。生産数量の減少や期初原価改定の影響により減益

## ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション:

- 原材料価格上昇分の売価転嫁値上げや、建設向け、間仕切り向けシート、路面標示材の販売堅調により増収も、一部製品において価格改定に伴う受注減少や買い控えにより販売数量が減少。生産効率が悪化

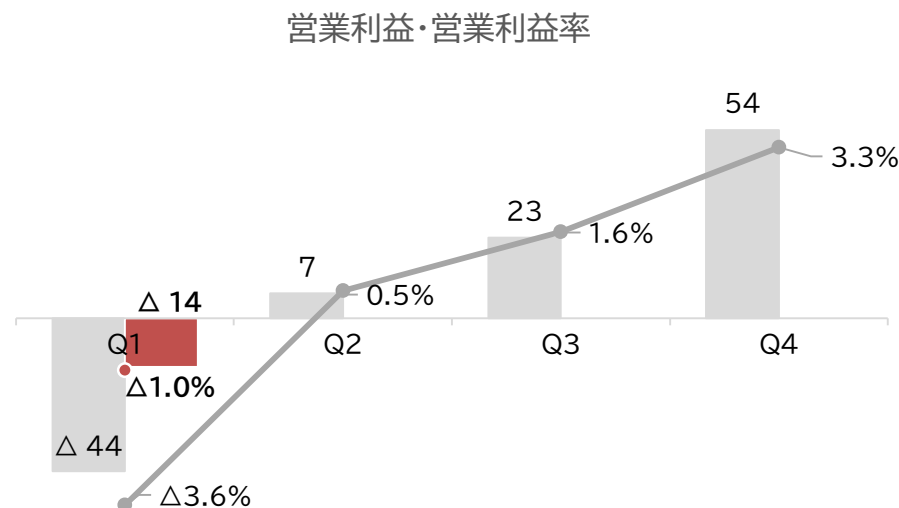
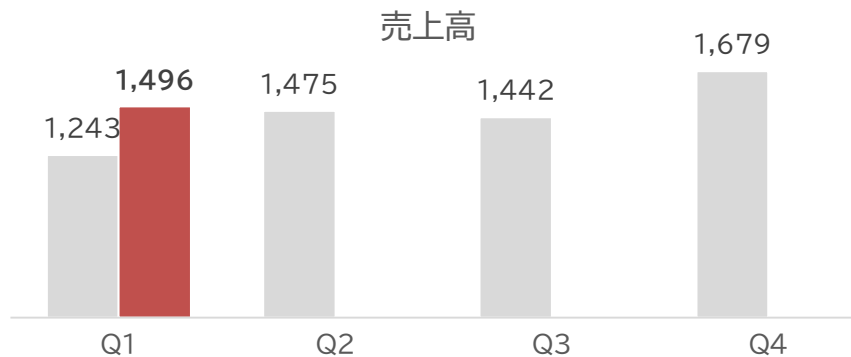
## パッケージングソリューション:

- 原材料価格上昇分の売価転嫁値上げや顧客との連携強化により販売数量が増加。生産体制見直しにより生産効率も向上

## アグリソリューション:

- 農業資材は猛暑対策向け遮光網が好調に推移。防虫ネットや防草シート類も各種キャンペーンの効果により堅調

単位:百万円



■ 2024.3期 ■ 2025.3期

■ 2024.3期 ■ 2025.3期 ● 2024.3期営業利益 ● 2025.3期営業利益

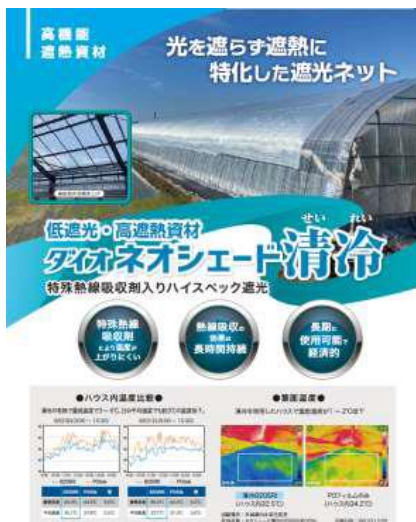
## デコレーション&ディスプレイ:

- 金属調加飾フィルムはフィルム販売、成形加工品販売ともに順調に拡大
- フィルム販売は北米、インド・東南アジア向けが好調。前期苦戦した国内、中国向けも徐々に回復の見込み。販売数量増加により生産効率も向上
- 成形加工品販売は名古屋工場において北米自動車2メーカー向けエンブレム、合計17種類の量産開始。安定供給体制の構築および品質向上により収益率改善を図る。前期立ち上げたオハイオ工場の稼働は順調
- 高透明多層フィルムはヘッドアップディスプレイやEV充電器など新規採用が増加したものの、採用車種のモデルエンドなどにより販売数量減少。下期にむけて回復する見込み
- 事業拡大のための設備投資による減価償却費や、販売拡大に伴う人件費、新たな主軸製品を目指す塗装代替フィルムの開発費なども吸収し、前年同期比で利益も改善。期末に向け売上高・営業利益の積み上げを見込む

## その他:

- テレビモニター用導光板の販売増加も、仕入販売のため利益への影響は些少

## マテリアルソリューション事業 高付加価値製品開発の取り組み事例



### アグリソリューションの新製品「ダイオネオシェード清冷」

特殊な熱線吸収剤により、従来品よりも遮熱性能と光線透過の両立を実現。耐久性も高く、売上高は想定を超え好調

猛暑での野菜の生育不良や農作業環境改善に効果

### 車両浸水防止カバー「ウォーターセーフ」

耐久性・防水性に優れたシートで車両を覆い、豪雨災害時の車両浸水を防止

「防災・減災×サステナブル大賞2024」優秀賞を受賞



## アドバンステクノロジー事業 新規採用事例

- 北米
  - EVメーカー向けエンブレム  
メッキ代替品としてCO2排出量削減が評価され、複数車種、複数パーツ向けに金属調加飾フィルムが採用。名古屋工場で成形加工し販売
  - 大手自動車メーカー向け光透過エンブレム  
複数車種、複数パーツ向けに金属調加飾フィルムが採用。オハイオ工場、名古屋工場で成形加工し販売
- 中国
  - 大手EVメーカー向け光透過エンブレム  
複数パーツ向けに金属調加飾フィルムが採用
  - 大手電機メーカー向けEV充電スタンドカバー  
加飾基材向けに高透明多層フィルムが採用
  - 現地日本メーカー向け内装加飾コンソール  
加飾基材向けに高透明多層フィルムが採用
- インド
  - 大手自動車メーカー向けエンブレム  
メッキ代替品としてCO2排出量削減が評価され金属調加飾フィルムの採用が拡大

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。  
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。